

全般にわたり市民の皆様にご身近で便利な情報を提供するとともに、市民の皆様からのご意見も聴取できるホームページ運営に取組みたいと考えています。

## 2 新市の中学校における部活動について

Q 学校に生徒が少ないと、集团的、組織的な教育、指導がやりにくくなりますが、中学校における部活動の現状についてお尋ねします。

### A 教育長答弁

市内中学校の部活動の現状は、運動部では、バレーボール部男子が3校、女子が7校、ソフトテニス部男子が4校、女子が7校、卓球男子が2校、女子が4校、野球部が7校、弓道部2校、サッカー部1校、そして陸上部が1校となっており、臨時として、駅伝部がすべての学校8校で設置されています。また、文化部では、吹奏楽部5校、美術部1校です。このほか生徒および保護者の要望により、学校外で練習を行っている部活動としては、剣道部、水泳部、柔道部、陸上部およびサッカー部などがあり、現在所属して活動している生徒数は約50名で、美

祢市内全生徒の6・5%となっています。

### 佐々木隆義議員



## 1 旧秋芳町地域のテレビ受信に係るデジタル化への対応について

Q 旧秋芳町地域には共同アンテナ組織があるが、デジタル化への対応は各組織それぞれ違う。今後旧秋芳町地域にもケーブルテレビを引かれるお考えがあるのか、また、引かれるとすればどのような形で実現されるのか、お尋ねします。

### A 市長答弁

旧秋芳町地域の今後の対応については、3つの方策が考えられます。1つ目は、現在視聴されている共聴施設のデジタル化改修。2つ目はMYTの拡張。3つ目は山口ケーブルビジョンのエリア拡大による対応です。いずれの方法にしても相当の予算と地域住民の協力、ケーブルテレビ会

社の協力が必要になります。

しかしながら、旧1市2町の住民の方々が同様な情報を享受できる形になるのが、最も新市の市民の方々の一体感の醸成につながると思いますので、3つの方策について、最も費用対効果が高く、市民にとって有益な方法を早急に検討するよう、担当部署の方には指示しており、このことについては早急に対応したいと考えています。

### 竹岡昌治議員



## 1 中心市街地の活性化について

Q 新市の中心市街地の顔づくりと、取り組み状況をお尋ねします。

### A 市長答弁

市の顔とも言える商店街を含む中心市街地の形成は、重要な課題ですが、これを具体化するためには、現状把握、また分析をし、長期的展望に立脚した計画を策定する必要があります。その策定には、商工

会などの関係者のご協力を得ながら、総合的な観点から検討していく考えです。また、旧美祿市における、美祿駅周辺において商業などの事業を開始する方に対する補助事業

については、施行前に広報紙やMYTで周知を図りましたが、公募申請がありませんでした。今後、補助対象地域を見直すことも必要かとも考えておりますし、不動産業者の方に対するPRも検討したいと思っています。

## 2 新市の基本計画策定について

Q 基本計画はどのように作られるお考えか、お伺いします。

### A 市長答弁

新市基本計画は、新生美祿のマスタープランという性格を持っており、今後策定を予定している美祿市総合計画の骨格とも言えるものと思っています。このため、この総合計画の策定には、新市基本計画と十分に整合性を図って進めていく必要があると考えています。また、策定の方法についても、現実に職員が汗をかいて積み上げたものが、市民のためになる計画と想っていますので、このため全庁的

な体制をとることにしています。

## 3 財政状況書の公表について

Q 財政健全化法施行に伴う、決算に基づく財政指標の公表についてお尋ねします。

### A 市長答弁

財政状況の報告および財政健全化法に基づく財政指標の公表時期につきましては、合併前の旧美祿市、美東町、秋芳町においては、12月議会で一般会計、特別会計の決算認定をいただいていたましたが、新市では、決算認定の時期を早めていただくよう、議会ならびに監査委員の方と早急に協議をさせていただきたいと考えています。

### 岡山 隆議員



## 1 美祿市民に開かれた行財政改革の構築について

Q 効率的で開かれた行政組織の構築と、経営感覚を持った健全財政運営の推進

について、お考えをお伺いします。

## A 市長答弁

合併時の基本的な考え方のもとで検討、組織化したものが現在の組織機構ですが、合併による行財政の効率化、新市としての一体化などの状況の変化に応じて、随時見直しを図る必要があると思っております。また、より効率的かつ機能的な組織とするために、本庁および総合支所、全体の再編も将来的には検討する余地があるかと考えています。

## 2 小・中学校の耐震化への整備について

Q 学校施設の耐震化調査において強度が非常に劣っていた場合には新規に学校を改築されるのか、お考えをお伺いします。

## A 教育長答弁

平成7年の阪神淡路大震災を受け、文部科学省は学校建物の耐震診断の実施を求めており、そのため市内の各小中学校については、平成15年から18年の4年間で対象の18校30棟の校舎および屋内運動場の第1次耐震診断を行いました。この耐震診断の結果は、

く、29棟の校舎、屋内運動場につきまして、第2次耐震診断、または耐力度調査が必要と判定されています。

今後は第1次の耐震診断の結果に基づき、美祿市学校施設耐震化推進計画を策定し、この計画に基づき年次的に第2次診断、もしくは耐力度調査を実施し、目標年次を定め、耐震補強や改修工事を進めたいと考えています。

## 安富法明議員



## 1 新市の担税力向上の対策について

Q 観光振興計画を策定するにあたり、市長の基本的な考えをお伺いします。

## A 市長答弁

新市の観光事業特別会計においては多額の累積赤字があり、財政の健全化は喫緊の最重要課題であると考えています。このため経費の節減と収入の増の両面から図っていく必要があると思っております。まず、組織の方では、旧秋

芳洞部門の正職員を減らし、臨時職員、委託職員の方を雇い入れます。次に、観光客の増加を図るためには、新市としての観光振興計画の策定が急務であると思っております。これに体験型観光、回遊型観光へのシフトを盛り込むべきと考えています。

Q 秋芳洞の保護と振興対策についてのお考えをお伺いします。

## A 市長答弁

秋芳洞の照明については、山口県産業技術センターにおいて、人体への影響、環境への影響に対する試験を1年かけて実施されており、その結果、人体および環境への影響がないことが実証されれば、その後開催される秋吉台に関する学術協議会で所要の承認を得て、洞内のLED照明について予算化をしたいと思っております。

## 2 農業の維持への基本的な方針と仕組みづくりについて

Q 後継者対策や維持対策などの条件が整えば、基盤整備などの事業を行われるお考えをお伺いします。

## A 市長答弁

当市においては、耕作放棄地の現状を把握した上で、活用すべき農地について利用権設定等促進事業、農地保有合理化事業、そして農用地利用改善事業の実施を促進したいと考えています。また、農業生産基盤整備事業は後継者の確保を含む担い手づくりが確実な地域から順次計画づくりの検討をしたいと考えています。

## 3 ふるさと納税制度の対応について

Q ふるさと納税制度が始まりましたが、市の対応はどのようになっているのか、お尋ねします。

## A 市長答弁

本市では、年末調整事務および確定申告前である年末頃の情報発信が適当と考え、現在これに向けた体制の整備を検討中です。今後、市外、県外に居住しておられる美祿市出身の方々を中心に、ふるさと美祿市の発展を願い、寄附するという形で応援をしていただけるように、新生美祿を全国に情報発信していきたいと思っております。

## 4 イベントなどへの市長の参加について

Q 市内の行事などへの市長の積極的な参加について、お考えをお伺いします。

## A 市長答弁

市長就任以来、地域、曜日、昼夜を問わず、できる限りの行事やイベントへ参加してきただつもりですが、市域も広範囲となり、かつて3人の首長で対応しておられた行事も相当な重なりがあり、ご案内のありました行事など全てに出席することは現実的に不可能な状況です。このため、出席できない場合は、代理を出すこと、また代理も出せない場合にはメッセージで対応するよう指示をしています。

## 5 市広報紙の発行頻度について

Q 月2回の市広報紙の発行を1回にすることに、お考えをお伺いします。

## A 市長答弁

市広報紙の発行については、合併協議会において、月に2回発行することが確認されており、県内の他の12市においても、月2回の発行という状況です。また、新生美祿市の情報を市民の方々に同じよう